

キャラクター名
赤坂 水渡(あかさか みと)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー サラマンダー	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント
オプション	ノイマン	年齢	26歳	性別	男
覚醒	忘却	衝動	妄想	初期侵食率	31%
出自	母親不在	経験	裏切った	邂逅	家族(幼馴染)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	1	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転:			芸術: 彫刻	2		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
“赫き剣”	白兵	4r+4	5	+22		作成.cost2 100%~Atk[28](使用.lose2 3)
“炎の剣”	白兵	4r+2	6	+21		100%~Atk[26](G優先…Atk,Gに6 9)
双橙	白兵	9r-2	C8	0		rGDa+5・cost2,lose2
冥紅	白兵	10r-1	C7	0		rGDa+10・cost2,lose3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
EM/一般: Rミス [5]	
一般: 能力訓練:精神	
一般: 能力訓練:社会	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
27.奇跡の血	P 幸福感	N 不信感		
幼馴染	P 尽力	N 恥辱		
"Dr.Insanity"不死原	P 好奇心	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
リミテッドイタル	2	2	マイナー		自身	自動	-	
効果: heal[Lv*2]								
赫き剣	2	2	マイナー		自身	自動	-	
効果: s~create “赫き剣”[0/*3+7/0]								
破壊の血	3	2	マイナー		自身	自動	limit	
効果: L “”Atk+[Lv*3],G+5								
氷炎の剣	2	2	マイナー		自身	自動	-	
効果: s~create “炎の剣”[-2/*2+8/6]								
地獄の氷炎	3	2	マイナー		自身	自動	limit	
効果: L “”Atk or G+[Lv*3]								
クイックモーション	1	2	マイナー		自身	自動	-	
効果: マイナーアクションを一つ行う								
コンセ:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	sydr	-	
効果: ; C-Lv(≥7)								
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器	-	<白射>	-	
効果: ; 装備2武器合計使用,Ach-[5-Lv]								
鮮血の一撃	4	2	メジャー	武器	-	<白兵>	-	
効果: ; Di+[Lv+1]								
紅蓮の衣	1	2	メジャー	至近	-	<白R>	-	
効果: ; rGDa+[Lv*5]								
血の彫像	★	-	メジャー	至近	単体	(彫刻)	-	
効果: s~任意の色,形の血液像を作成								
自動体温	★	-	メジャー		自身	自動	-	
効果: 体温調節で作業,思考,休憩を高效率								
構造看破	★	-	メジャー	至近	機,建造	(知識:)	-	
効果: 構造解析・分解復元,図面作製etc								

「『散る姿は美しい』のは事実ですが、元々美しい者にそれを求めはしません。ご安心を、貴方を殺しはしませんよ」
「お前のような駄作に出会うと決まって破壊欲に駆られるのは、芸術家としての性らしい。”作り直し”だ、斬る」

元彫刻家。和風好みでありながら、石膏から作るこだわりを持つ。
和の被写体を求め、各地の神社を巡るなどしていた。ある夜の帰路に突然の体の異変に倒れ、救急車を呼んだ直後に気を失い、目を開けると自分がいたのは病院ではなく如月市UGN支部であった。二年前の事である。
覚醒する直前にどの神社を訪れていたかは完全に忘却しており、感染源は未だ不明のままである。感染したレネゲイドは珍しい種であり、そのため本支部と連携している別の支部の研究員が必死に調査を進めているらしい。
炎と血を操る能力に目覚めるが、その二つの攻撃性の高い能力の影響か、以前の彫刻家としての器用さが著しく失われており、職を手放すことを決意する。代わりに炎と血の造形には長けており、これらによる剣術を磨こうとする内に、その会得の早さからノイマンを含むトライブリードであることが発覚した。この炎と血と知の3つのレネゲイドは特別な関係にあり、互いが互いの安定を生んでいる。戦闘時は、侵蝕が極限に至った際に赤黒いオーラに包まれるその姿は和の伝説の鬼を思わせる。感染源の神社と関係があるのだろうか。
この赤い2つの“素材”で作品を手掛けられぬものと密かに職復帰を目指しているが、作ってもすぐ壊れる不安定さに頭を悩ませている。

彼が最高の彫刻家を目指す理由は、古き記憶にある。母の死に放心した父に代わり、幼馴染はよき遊び相手、話し相手となった。そして好意を寄せられた。彼もそれに応える、善だった。

顔を見たのはそれが最後となった。名前も覚えていない、行先も知らない。
物作りを極め、彫刻家の道を見出した。全国に名を馳せよう。“あの人”にもう一度会う為に。そして、本当に伝えたかったモノを見せるために。だから、そう〇〇失敗作など、二度と作ってはならないのだ〇〇。